

I 実践

研究主題

『人権教育の精神の涵養を目指す人権教育の推進』

～教職員自らの人権意識を高め、家庭や地域との連携を深めながら、教育活動全体を通した
生徒の人権感覚や人権意識の育成～

1 学校教育目標

- (1) つよく・・・じょうぶな体とたくましい心を育てる
- (2) ただしく・・・自ら進んで創造する態度を養う
- (3) ゆたか・・・豊かな心情を培う

2 学級・学年・学校像・生徒像・教師像

- (1) 学校像：信頼される学校，生徒が輝く学校，規律ある学校（時を守り 場を清め 礼を正す）

○生徒一人一人が生き生きと活動する特色ある学校づくり

・あいさつ運動の推進，ありがとう運動の展開，ボランティア活動の充実

○ルールとマナー，時刻を守る学校づくり

・基本的生活習慣の確立

- (2) 生徒像・・・夢や目標をもち 主体的に学び行動する生徒

つよく：体を鍛え 進んで行動する生徒

ただしく：自ら学び 創意工夫する生徒

ゆたかに：礼儀正しく 思いやりのある生徒

《生きる力の育成》

① 確かな学力の育成

② 豊かな心の育成

○学年，学級経営の充実

・出番や居場所のある学級，望ましい人間関係づくり，QUテストの活用

○心に響く教育の推進

・道徳教育の充実，道徳的实践力の育成

○体験活動，ボランティア活動の充実

・生徒会活動の活性化，地域行事への積極参加

○人権教育の推進

・生命尊重の態度の育成，いじめを許さない集団づくり

○自然や歴史，伝統を愛する心の醸成

・総合的な学習の時間の充実

③ 健やかな体の育成

- (3) 教師像・・・心身ともに健康で 信頼される教師

V Vitality 元気いっぱい，活力にあふれ，実践を大切にする教師

S Speciality 専門家として，知識・知恵をもち，指導力に優れた教師

O Originality 創意工夫を大切に，新しいものに挑戦する教師

P Personality 豊かな人間性と感性をもち使命感のある教師

3 学校教育の方針、重点・努力目標 信頼される学校づくりのために

人権教育の精神を全教育活動の基盤にし、生徒のよさや個性を伸ばすための創意ある教育実践を通して、学ぶ喜びを実感できる学校づくりに努める。また目指す生徒像の「豊かな心の育成」をより確かなものにするため、すべての学校教育の基盤となる学級の場に温かな人間関係を構築し、絆づくりを推進し、受容的・許容的な雰囲気醸成を図ることとした。

4 研修・活動実践状況

月	指 導 内 容	備 考
4	・指導方針，研修計画の立案 ・学級組織作り ・生徒会オリエンテーション	・人権教育部 ・学級活動 ・生徒会の企画運営 ・生徒指導部
5	・生徒総会 ・公民の学習「人権尊重と日本国憲法」 ・心ゆたかな体験学習（1年） （集団行動のあり方と人間関係の指導）	・生徒会活動 ・生徒会の企画運営 ・社会科部 ・学年，学級活動
6	・教育相談	・学級担任，相談員
7	・職場体験学習（2年） ・1学期の反省と今後の取り組みについて ・人権作文，標語による人権意識の高揚	・学年，学級活動 ・部員研修会 ・人権教育部
9	・体育祭 （集団としての取り組み，参加の仕方）	・全校，学年，学級
10	・文化祭「鵬祭」の運営について ・宿泊学習（2年） （集団行動のあり方と人間関係の指導）	・全体研修会 ・学年，学級活動
11	・文化祭「鵬祭」の実施 （生徒の自主活動と人間関係の指導）	・生徒会活動
12	・教育相談（悩みや問題をもつ生徒の指導） ・2学期の反省（学級の人間関係，まとめり）	・部員研修会
3	・学年末反省 （本年度の反省と次年度への提言）	・部員研修会

5 成果

教育活動全体を通して、人権意識の育成を図ってきた。特に行事などでは、クラスでの人権を意識した盛り上がりが見えた。また生徒会活動によるあいさつ運動、奉仕委員会による募金活動や地域の介護老人保健施設「さくら日立」への訪問などの取り組みによって目指す生徒像である「豊かな心の育成」を考えさせる良い機会となったと感じる。今後も継続して教育活動の中で人権意識の育成に努めていきたい。

II 今後の課題

今後は、より教職員全員が共通意識のもと学校教育全体を通して人権教育にあたるように研究や研修、実践を計画的・積極的に取り組めるようにしていきたい。